

第131回女川原子力発電所環境保全監視協議会議事録

開催日時：平成26年11月20日 午後1時30分から

開催場所：KKRホテル仙台 2階 蔵王の間

出席委員数：19人

会議内容：

1. 開会

司会： ただいまから第131回女川原子力発電所環境保全監視協議会を開催いたします。議事に先立ちまして、本会議には委員数34名のところ、19名のご出席をいただいておりますので、本会は有効に成立しておりますことを報告いたします。

2. あいさつ

司会： それでは開会にあたりまして、若生副知事からご挨拶を申し上げます。

(若生副知事あいさつ)

3. 議事

議長： それでは、次第に基づき議事に入らせていただきます。確認事項のイの平成26年度第2四半期の女川原子力発電所環境放射能調査結果についてご説明願います。

(1) 確認事項

イ 女川原子力発電所環境放射能調査結果（平成26年度第2四半期報告）について
(事務局から説明)

議長： ただいまの女川原子力発電所の環境放射能調査結果の説明に対しまして、ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

長谷川委員： お聞きしたいこととお願いしたいことがあります。まず1番は、10ページ目です。鮎川の可搬MP局の線量率、ほかと比べると変動（アップダウン）がちょっと大きいような気がします。これは何か特別なこと（状況）、あるいは機器に何か異常があったのでしょうか。2番目は、前にもお願いしたことですが、17ページに、“セシウム-137の月間降下量の変動”が小さい図を挿入する格好で記載されております。これはこれでよろしいのですが、福島3.11以降の県民の皆さんのご理解を考えますと、このセシウム-137、場合によってはそれプラス134の経時変化をもっとわかりやすいように、一目で見てわかるように表現できないか検討していただけないか再度お願いしたい。

議長： 事務局、お願いします。

事務局： まず2点目の、いわゆる測定結果の経時変化、どのように現在、汚染状況が減少してきているかについて、わかりやすくのご提示をというご助言と承りまして、次回以降、ご相談させていただきながら、こういった報告書に記載すべきグラフについて検討させていただきたいと思っております。続きまして、鮎川の可搬型モニタリングポストの状況でございます。こちらのほうは測定を担当しております原子力センターのほうから、その状況についてご説明をさせていただきたいと思っております。

原子力センター： 原子力センターの榎野と申します。こちらにつきましては、資料、スライドにより、担当のほうから説明を申し上げます。

原子力センター： 原子力センターの木村幸由と申します。失礼ですが着座にて説明させていただきます。まず、鮎川局の変動の説明に入る前に、鮎川局の設置場所について申し上げたいと思っております。こちらスライドに示しているのは、牡鹿半島全体図ですが、鮎川局は女川原子力発電所から約10キロちょっと離れたところに設置しています。さらに詳しい図を示します。鮎川局は、こちらの赤い丸で囲ったところ、石巻市役所牡鹿総合支所の敷地内に設置しています。鮎川局に関しましては、このすぐ近くのところに牡鹿総合支所の駐車場があるという状況です。ほかの可搬型モニタリングポスト4局では近くに駐車場がないのですが、こちら鮎川局では近くに駐車場があるという状況です。その上で、鮎川局の線量率の変動について、1日単位での図を示します。まずこのギザギザの青い線が、実際に鮎川局で測定された線量率の値です。そして、上の赤い線が朝0時から6時の間の線量率の平均値、緑色の線が日中9時から15時までの線量率の平均値、そして、紫色の線が夜6時から0時までの線量率の平均値を示しています。鮎川局の線量率変動の要因としまして3つ考えていまして、まず1つ、この朝方の赤い線に比べて夜の紫色の線のほうが低くなっていますので、ほかの女川局や小屋取局などと同様に、朝方は大地から湧き出たラドンもしくはその子孫核種の大気中濃度が上昇していることによって、朝は線量率が高くなっているものと思われれます。2つ目としまして、この平日の線量率の低下の程度と休日もしくは祝日の線量率の低下の程度を比べていただきますと、平日のほうが線

量率の低下が大きいように思われます。これは、先ほど示したとおり、近くに駐車場がありますので、駐車場に駐車した車によって、地面からの放射線が遮へいされているという可能性が考えられます。あと最後に3つ目なのですが、可搬型モニタリングポストは、津波で全壊したモニタリングステーションの代替として設置しています。そのため、どの核種が検出されたかがわかるようにNaI検出器というものを使用しています。そのスペクトルをこちらに示していますが、赤い線はその日中のスペクトルでして、その後ろに隠れているのですが、青い線が朝方0時から6時の間のスペクトルです。これを見ますと、朝方の青い線に比べて赤い線のほうが、低エネルギー側にドリフトしているということがわかります。線量率は、このスペクトルから計算して求めていますので、このスペクトルのドリフトが線量率の低下に影響している可能性が考えられます。鮎川局の日中変動に関しましては以上です。

議長： よろしいですか。

長谷川委員： 細かいところを聞いて申しわけないんですけど、職業病で、ちょっと異常だなど、気になりました。

議長： ほかにご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。特にありませんでしょうか。

〔な し〕

議長： それでは、この環境放射能の調査結果につきましては、ご確認いただいたということですのでよろしいですか。

〔は い〕

議長： ありがとうございます。それでは、次に、温排水の第2四半期の説明、事務局からお願いいたします。

ロ 女川原子力発電所温排水調査結果（平成26年度第2四半期報告）について
（事務局から説明）

議長： ただいまの第2四半期の女川原子力発電所温排水の調査結果につきまして、ご質問あるいはご意見がございましたら委員の皆様よろしくお願いいたします。特によろしいですか。

[な し]

議長： それでは、お諮りしたいと思います。第2四半期の温排水調査結果につきまして、ご確認いただいたということによろしいでしょうか。

[は い]

議長： ありがとうございます。それでは、次の確認事項ですけれども、昨年度1年間を通しての温排水の調査結果について、引き続き事務局から説明願います。

ハ 女川原子力発電所温排水調査結果（平成25年度）について
（事務局から説明）

議長： それでは、ただいまの昨年度の温排水調査結果につきまして、ご質問、ご意見等ございましたら委員の皆様お願いいたします。

尾定委員： 生物調査のデータ、膨大で、結構まとめるの大変だったと思うんです。これは貴重なデータで、着実に毎年積み上げていけばよろしいかなと思います。実際、原子力発電所が停止して、温排水が出なくなってから3年目という形で、大分落ちついてきていると思うので、もう稼働していないときには、通常この海域はどういう生物相をしているのかをこれから3年間、来年どうなるかわかりませんが、全体的に把握して、どのような傾向なのか、どういう状態の生物相なのかをしっかりと押さえておくというのは、そこを基準にしてこれから次比較に入るので、ここはしっかりデータを重ねていただければと思っています。それで、質問がありまして、表-5の卵の季節別出現状況で、不明卵っていつもあるんですけども、不明卵、ギリシャ文字でこの場合ⅦとかⅩⅤとかと、あとⅩⅠとかと書いてありますけれども、それぞれは、一応その番号ついているのは単一種なのか、何か似たような形状をしているものを何番というふうにされていたのでしょうか。その辺をお話しいただきたい。

事務局： それについては、担当のほうからご説明申し上げます。

事務局： 水産技術総合センターの雁部でございます。これにつきましては、形状とかサイズとかで過去にも分類してござい

て、その分類形態に伴って、過去に見られたものがⅠとかⅡとかといったことで分類しております。ですから、形状とかサイズの特徴で分離したレベルということでございます。

尾定委員： 必ずしも特定の種類、種は判別はできないけれども、これは1つの種に起因している卵で、どの種ということがよくわからない。形態的に分類されているんですか。

事務局： 今申し上げました形状とかサイズ別レベルでしかやっていませんので、特定の種とかそこまではわからない難しい内容ということでございます。

尾定委員： はい、わかりました。

議長： よろしいでしょうか。ご質問の前の提言、貴重なご提言なので、よく把握をしておくようお願いいたします。ほかにご質問等ございましたらお願いいたします。よろしいですか。

[な し]

議長： それではお諮りいたします。平成25年度の女川原子力発電所温排水調査結果につきましては、皆様にこの場でご確認をいただいたということでよろしいでしょうか。

[は い]

議長： ありがとうございます。それでは、確認事項は以上で終わりました。次、報告事項に入ります。報告事項イ、ロと2つございますけれども、東北電力のほうからご説明をお願いいたします。

(2) 報告事項

イ 女川原子力発電所の状況について

ロ 女川原子力発電所2号機における新規制基準への適合性審査の状況について

(東北電力から説明)

議長： 今2つの報告があったわけでございますけど、まず第1番目の女川原子力発電所の状況について、ご質問等ございましたらお願いしたいと思います。

長谷川委員： 1つお聞きしたいです。保安規定の点検の表記ミス

ということで伺ったのですが、考えてみますと、もう何年か前にヒューマンエラーが相次いで、そのとき、その当時保安院から（定期安全管理審査）C評定を受けました。その後、社長をトップとする安全対策の仕組みをつくられてA評定になったということだったと記憶しています。保安規定のこの点検に関しても、それに準じて行われるものだと私どもは思っております。ですが、何か今回の件を見ますと、本当に些細なところの、点検しなくて、該当しないところを了としたというだけの問題なのか。それとも、そういうような組織が劣化している、あるいは取り組みが劣化しているのではないかというそういう懸念があるわけです。点検作業の計画段階から、それから、作業直前、作業中、作業後の点検、それから、またその結果を承認されるときにどういう基準で一体承認がされているのか。判子押すときですね。そこらがどうなっているのだろうか。それからもう一つは、一般的に、今度は教育訓練だとかがちゃんと行われているか。それから、過密スケジュールで日程が密になっていて、急がざるを得なかったとか、そういうようなことはないのかどうか。それから、それに関して協力企業、下請企業がどういうふうにやっていたのか。次回でも結構ですが、ちょっと報告していただけないか。本当にもう些細なことなのか。何か劣化の始まり、始まりというのは変な言葉ですけども、そういうことになりはしないかということが懸念されますので、そういうふうにお問い合わせできないかと思えます。

東北電力： 本当にご心配をおかけしております。申しわけありません。今おっしゃられた点につきましても、今、原因分析、それから再発防止対策について検討してございまして、その中で、今おっしゃられたことについても焦点を当てて分析していることとございます。これについては、まずは保安検査の中でご説明して、この会合の中でもご説明できればというふうに思っております。

議長： ほかにございましたらお願いいたします。東北電力さんはくれぐれも、いろいろな対策は講じていたと思うんですけども、講じた上でもこういったことがあると、やはり今委員の先生からご指摘いただいたような疑問も出てきますので、しっかりと対応していただきたいというふうに思っております。ほかにご質問ございませんでしょうか。

〔な し〕

議長： それでは、2つ目なんですけれども、今、原子力規制庁のほうで今安全審査をやっているわけなんですけれども、その適合性審査の状況について説明ありましたけれども、何かご質問、ご意見、あるいはもう少し詳しく聞きたいというような点がございましたら、どうぞよろしくお願ひいたします。よろしいでしょうか。

〔な し〕

議長： それでは、以上で東北電力のほうからの報告を終わらせていただきます。それでは、以上で今日の議題一切終了したわけでございますけれども、次回の開催日の連絡、事務局のほうからございましたらお願ひいたします。

事務局： 次回の協議会の開催日を決めさせていただきます。3カ月後の平成27年2月19日の木曜日、仙台市内での開催を提案させていただきます。なお、開催日時は、時期が近くなりましたら確認のご連絡をさせていただきます。

議長： ただいま、次回2月19日木曜日、仙台市内で開催ということでございますので、委員の皆様方よろしくお願ひ申し上げたいと存じます。そのほか何か事務局ございますか。特にないですか。

〔な し〕

議長： それでは、ないようでございますので、本日の会議を終了させていただきたいと思ひます。本当にどうもありがとうございました。

4. 閉会

司会： それでは、以上をもちまして、第131回女川原子力発電所環境保全監視協議会を終了いたします。本日はありがとうございました。